

コロナウイルス感染対策

～うららでの取り組みをご紹介します～

なかなか収束の見えない新型コロナウイルス。絶対に負けられない戦いが続きます。うららでの感染防止策の一部をご紹介します。

●正面玄関にはこのような装置が!

来所者が顔を近づけると自動で体温を測定でき、なおかつ受付のパソコンに記録される優れたものです。発熱者を感知すると警告音が鳴ったり、マスクをしていないと『マスクを着用してください』と知らせてくれたりします。

このサーマルカメラは職員玄関にも設置され、就業時の職員の体調チェックにも活用しています。

正面玄関



職員玄関



●各フロアの食堂のテーブルや面談コーナーなどに設置された、こちら。

テーブルの上に透明の板があるのがわかりますか? 飛沫感染防止のアクリル板です。

利用者様や来所された方に、少しでも安心感を持っていただきたいのです。

ご紹介したこと以外にも、施設内の至る所に消毒液を設置していたり、職員にはスマホを使って1日2回、自身や家族の健康状態の報告も行ったりしています。

日本中でワクチンの接種が進んできたとはいえ、接種しても感染される方もいらっしゃいます。うらら入所者様のワクチン接種も進んでいますが、それだけでは安心できません。二度とクラスターを起こさないためにうららではハード、ソフト両面から感染防止を図り今後も継続していきます。

談話室に設置したアクリル板

